



# 群馬大学医学部医学科について

# 群馬大学医学部医学科 人材育成の理念（SESの理念）

医学科は、医学と医療が自然科学の上に成り立ち、  
かつ社会の中で人を対象として行われるものである  
ことを理解し、科学的知（**S**cience）、倫理  
（**E**thics）、技能（**S**kill）の3つの面（SES）に  
わたって生涯自己研鑽を続けることができる学生  
の育成を目的とする。

# 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

## ＜教育の目標＞

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の3つの面（SES）にわたって生涯自己研鑽する力がつく教育

1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身につく教育
2. 自然科学、医学、医療、人間と社会にかかわる知を習得し、それを実践でいかす力が身につく教育
3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身につき、リサーチマインドが育つ教育
4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育

# 群馬大学医学部医学科のアウトカム

本学医学科では、  
卒業時に目指すべき学生像と卒業時に身につけておくべき  
力を定めています。これらのアウトカムを達成すべく  
6年間の教育をおこないます。

## 卒業時に目指すべき学生像

医学・医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人  
を対象として行われるものであることを理解し、  
科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）  
の3つの面にわたって生涯自己研鑽を続けることができる  
学生。



# 群馬大学医学部医学科のアウトカム

卒業時に身につけておくべき力

- A 自己省察（せいさつ）力
- B 知識の獲得と知識を応用する力
- C コミュニケーション能力
- D チーム医療の中で協働する力
- E 基本的な総合診療能力
- F 地域医療の向上に貢献する能力
- G 医学研究を遂行する能力
- H 自己研鑽

A～Hの各領域についてさらに具体的な目標が定められています  
詳しくはウェブサイトをご覧ください

# 教育の充実

全国共通の「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に加えて、倫理教育、医療安全教育、プロフェッショナルリズム教育、人間理解や人との関わり方の教育、シミュレーション教育、多職種連携教育、診療参加型臨床実習の充実を図っています。

特に医療安全教育は全国に先駆けた取り組みを積極的に行っており、安全・安心な医療を提供できる医師の養成に取り組んでいます。

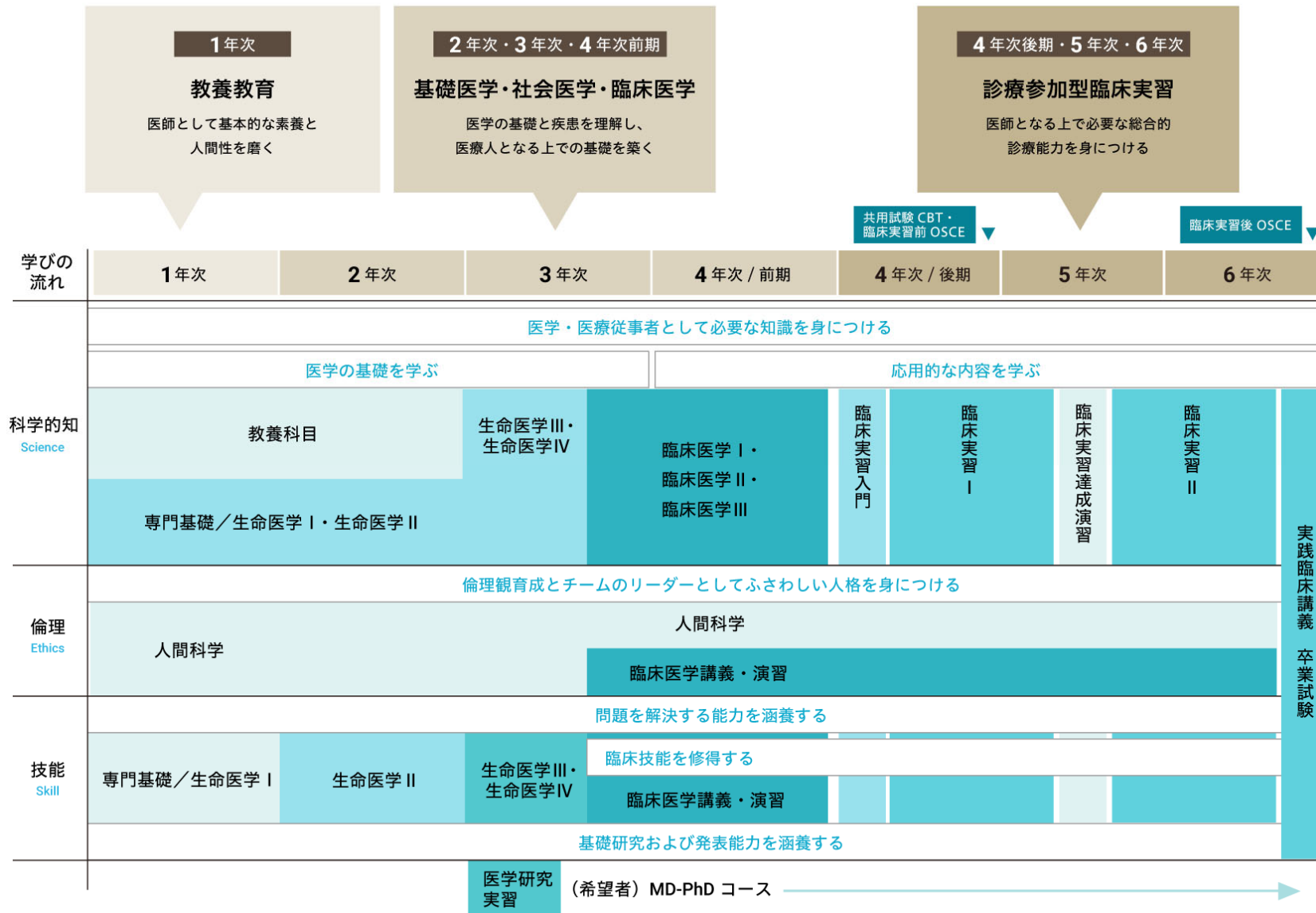
# 本学のカリキュラムと教育体制は 医学教育分野別評価で認定されています

国際評価機関である  
日本医学教育評価機  
(JACME) による

医学教育分野別評価の  
審査を受けて、本学の  
カリキュラムと教育体  
制が、国際基準に適合  
していることが認定さ  
れました。



# 6年間のカリキュラム

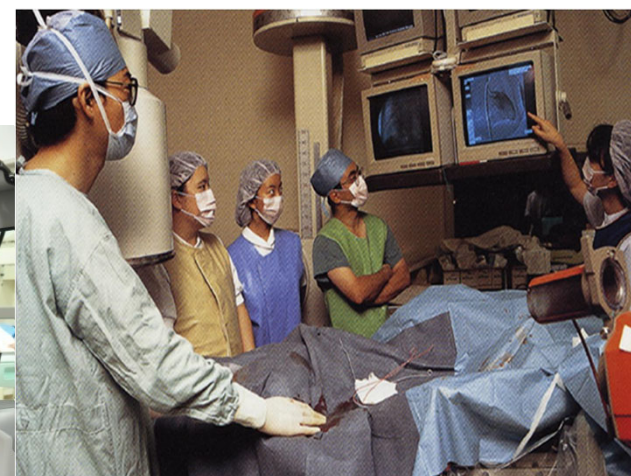
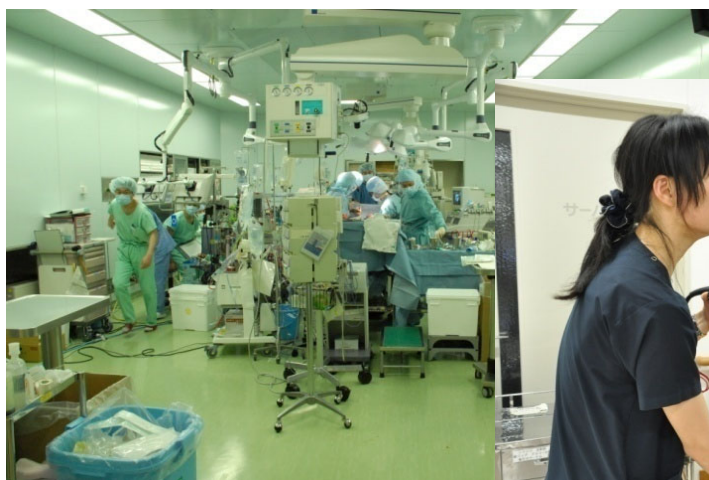




# 診療参加型臨床実習

診療参加型臨床実習の充実にちからを入れています。  
附属病院だけでなく県内全域の医療機関で臨床実習を実施しています。

5年次～6年次の臨床実習では、45施設172プログラムから実習先を選択できます。



# 特別プログラム

## ・グローバルフロンティアリーダー (GFL) 育成プログラム

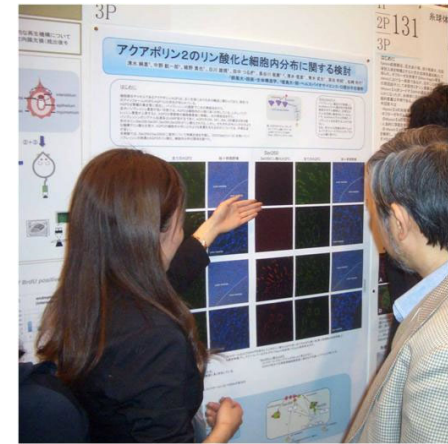
国際的視野を持ち、広く国際社会に貢献し得る人材の養成を目指したプログラムです。

群馬大学の各学部から選抜されたGFL生たちが協力し合いながら、留学や講演企画等多種多様な教育プログラムに取り組みます。

医学科では、入学後に説明会と募集を行います。

# 特別プログラム

- ・ MD-PhDコース



研究に興味がある学生にお勧めです  
授業時間以外に研究室で研究をおこないます  
研究発表や論文執筆を行う先輩がたくさんいます  
(過去5年で論文約60報、学会発表約30件)

大学院の授業の一部を先取りで履修するので、卒業後に本学の大学院に進学した場合、一定の条件を満たせば大学院を3年で修了することもできます

# 国際交流

インドネシア、コロンビア等の大学と提携した

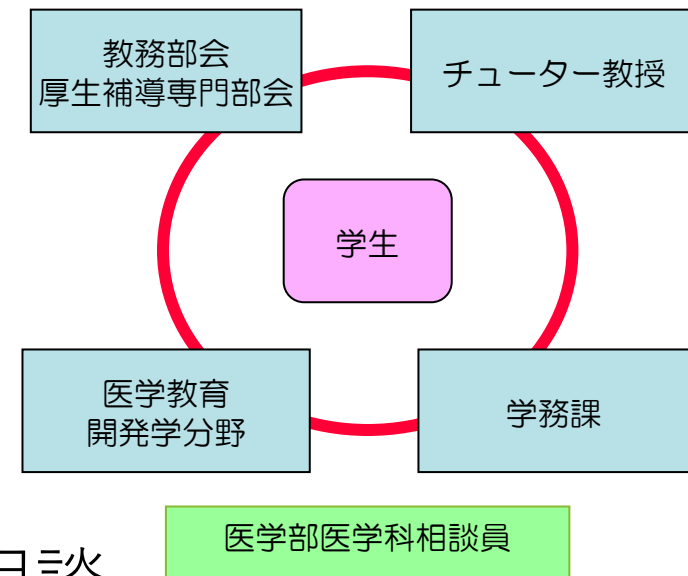
交換留学プログラム等、海外留学プログラムも複数用意されています。

医学生だからこそ参加できる  
臨床実習プログラムも  
人気です。



# チューター制度

新入生 2～4 人に対し 1 人の教授が担当チューターとなり、卒業まで学生をサポートします。



入学時のガイダンス、  
修学時の色々な問題・悩みの相談  
卒業後の研修先への推薦状の作成